

2018年9月12日

神戸親和女子大学 授業評価アンケート結果
(2015年度～2017年度)
【全学科統合版】

神戸親和女子大学 授業評価専門部会

アンケートの概要

1 目的

学生の授業に対する評価や意見及び要望等を把握することにより、学生の実態に合わせた授業改善に取り組むことを目的とする。

2 アンケート対象

原則全科目を対象とする（ただし、実習、海外研修等、実施形態が他の科目と異なるものは除く）。

3 調査方法および調査期間

各学期末に、Shinwa Smile.net を用いてオンラインで回答させる。過去3年間の調査期間は下記のとおり。

学期	調査期間
2015年度春	2015年7月13日（月）～7月31日（金）
2015年度秋	2016年1月6日（水）～2月5日（金）
2016年度春	2016年7月11日（月）～8月2日（火）
2016年度秋	2017年1月6日（金）～2月7日（火）
2017年度春	2017年7月10日（月）～8月4日（金）
2017年度秋	2018年1月9日（火）～2月7日（水）

4 アンケート回答状況

過去3年間の回答状況は下記のとおり。どの年も、春学期は50%前後の回答率を保っているが、秋学期になると40%を下回るようになる。またこの表には示していないが、学年が上がるにつれ、回答率が低くなる傾向がある。

実施時期	対象授業数	延べ履修者数	延べ回答者数	回答率
2015年度春	685	20,161	9,964	49.4%
2015年度秋	584	18,283	7,268	39.8%
2016年度春	659	17,850	9,057	50.7%
2016年度秋	575	16,898	6,133	36.2%
2017年度春	642	18,540	8,993	48.5%
2017年度秋	548	16,803	6,312	37.6%

5 アンケート項目（12項目からなる）

問1：欠席回数について

(①6回以上 ②4～5回 ③3回 ④2回 ⑤1回 ⑥0回)

問2：授業外学習時間

(①ほとんどしなかった ②30分程度 ③1時間程度 ④2時間程度
⑤3時間程度 ⑥3時間以上)

問3：難易度

(①易しかった ②やや易しかった ③適切だった ④やや難しかった ⑤難しかった)

以下の問4～問11は、①を「全くそうは思わない」、⑥を「とてもそう思う」として、6段階（①～⑥）で評価する。ただし「不明・回答不能」は⑩を選ぶようにする。

問4：この授業のシラバスを読んだ

問5：授業の進行について必要な情報が提供された

問6：担当教員の教え方は適切であった

問7：担当教員の一方的な授業ではなく双方向的な授業であった

問8：この授業の内容が理解できた

問9：わたしの授業態度はよかった

問10：成績評価方法や成績基準について理解できた

問11：担当教員からの質問（授業内で指示があった場合のみ回答）

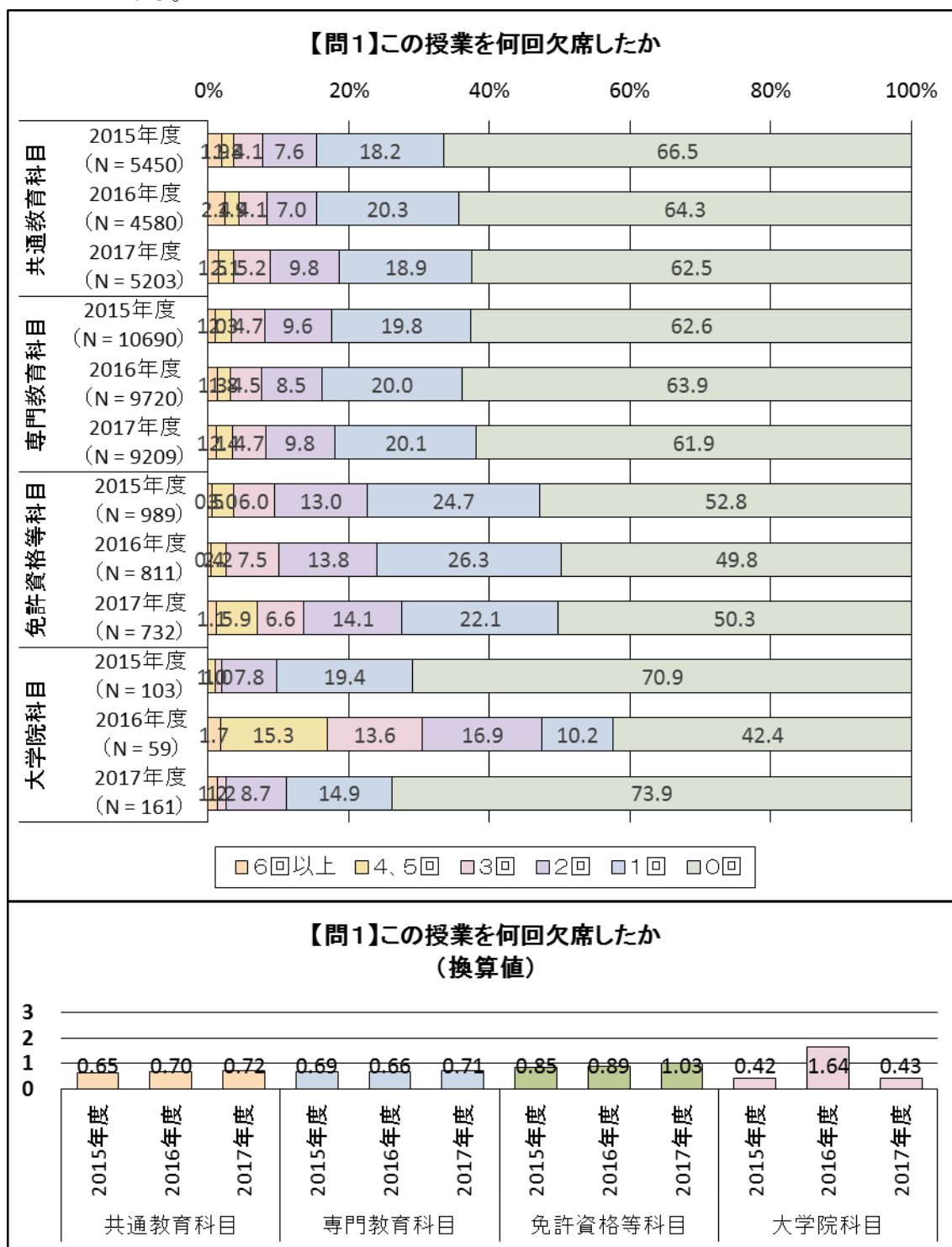
問12：授業についての感想・希望等（自由記述）

6 集計方法

本報告では、アンケート対象授業を「共通教育科目」「専門教育科目」「免許資格等科目」「大学院科目」の4カテゴリーに分け、それぞれのカテゴリーに関して問1から問10の単純集計を行った。また、選択肢に換算値を付与し、有効回答における平均換算値を算出した。なお、問11は担当教員によって質問内容が異なり、また問12は自由記述回答であるため、これらの分析は本報告では割愛している。

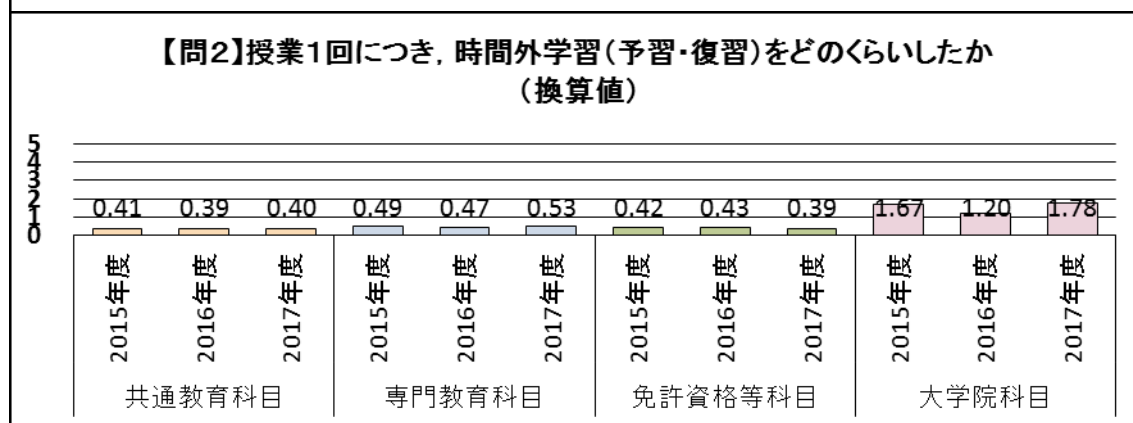
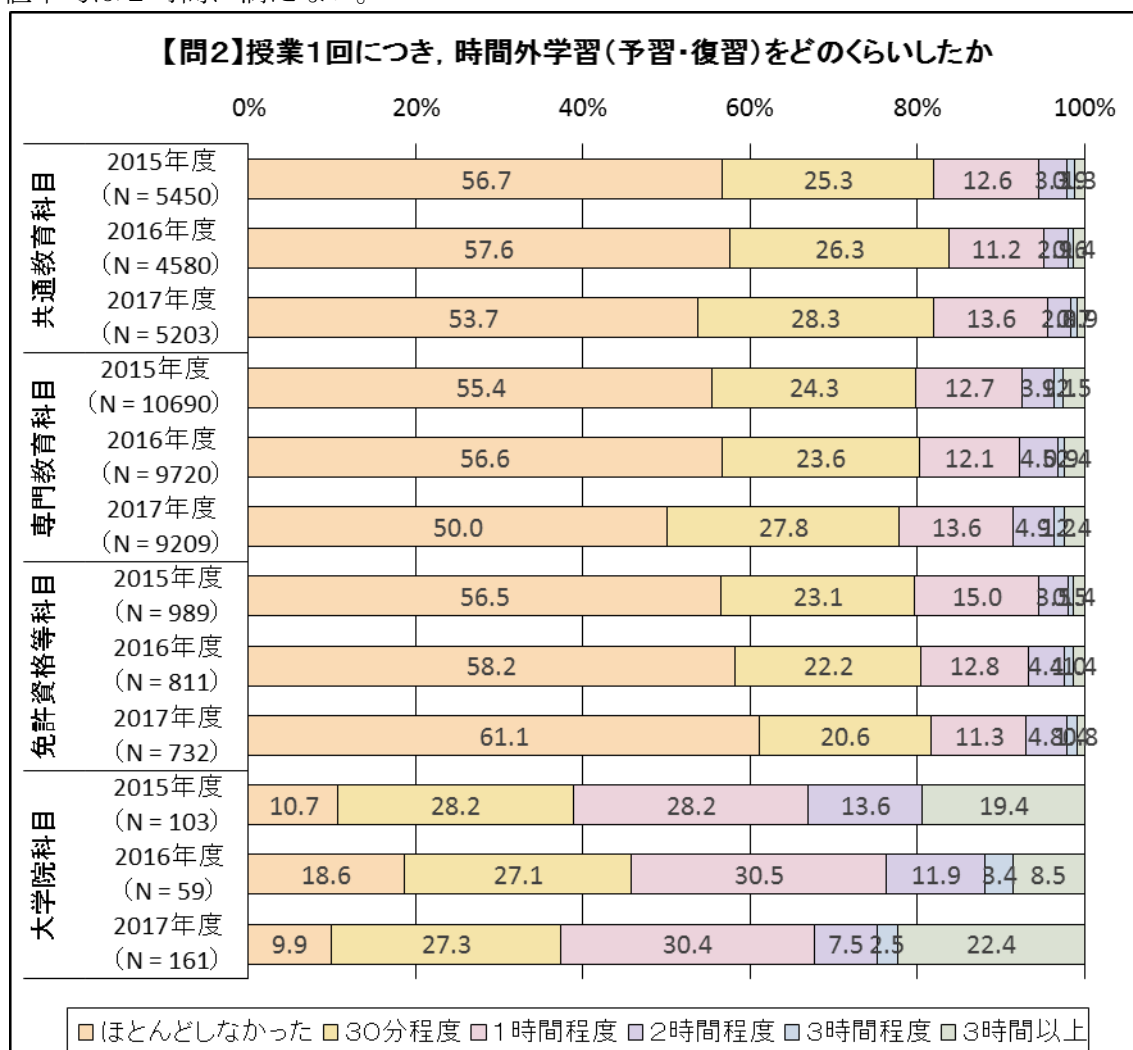
問1：この授業を何回欠席したか

- ・「①6回以上」を「6」，「②4～5回」を「4.5」，「③3回」を「3」，「④2回」を「2」，「⑤1回」を「1」，「⑥0回」を「0」のように換算（数値化）した。
- ・共通教育科目，専門教育科目については欠席数1回以下の割合が80%を超えているが，免許資格等科目はこれらと比べると出席状況が良くない。
- ・大学院科目については2015年度，2017年度は欠席数1回以下の割合が90%を超えている。2016年度の出席状況が良くないが，これは教育実習のため出席できなかった者がいたためである。



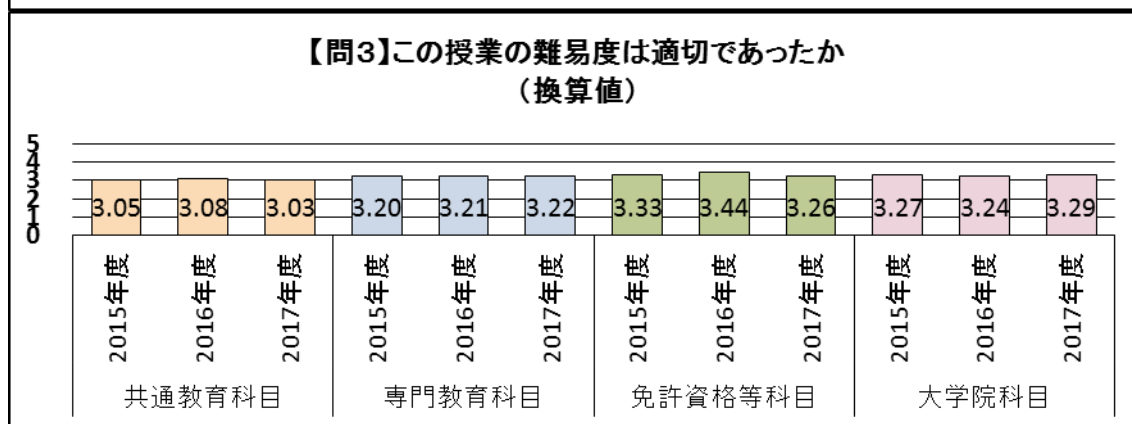
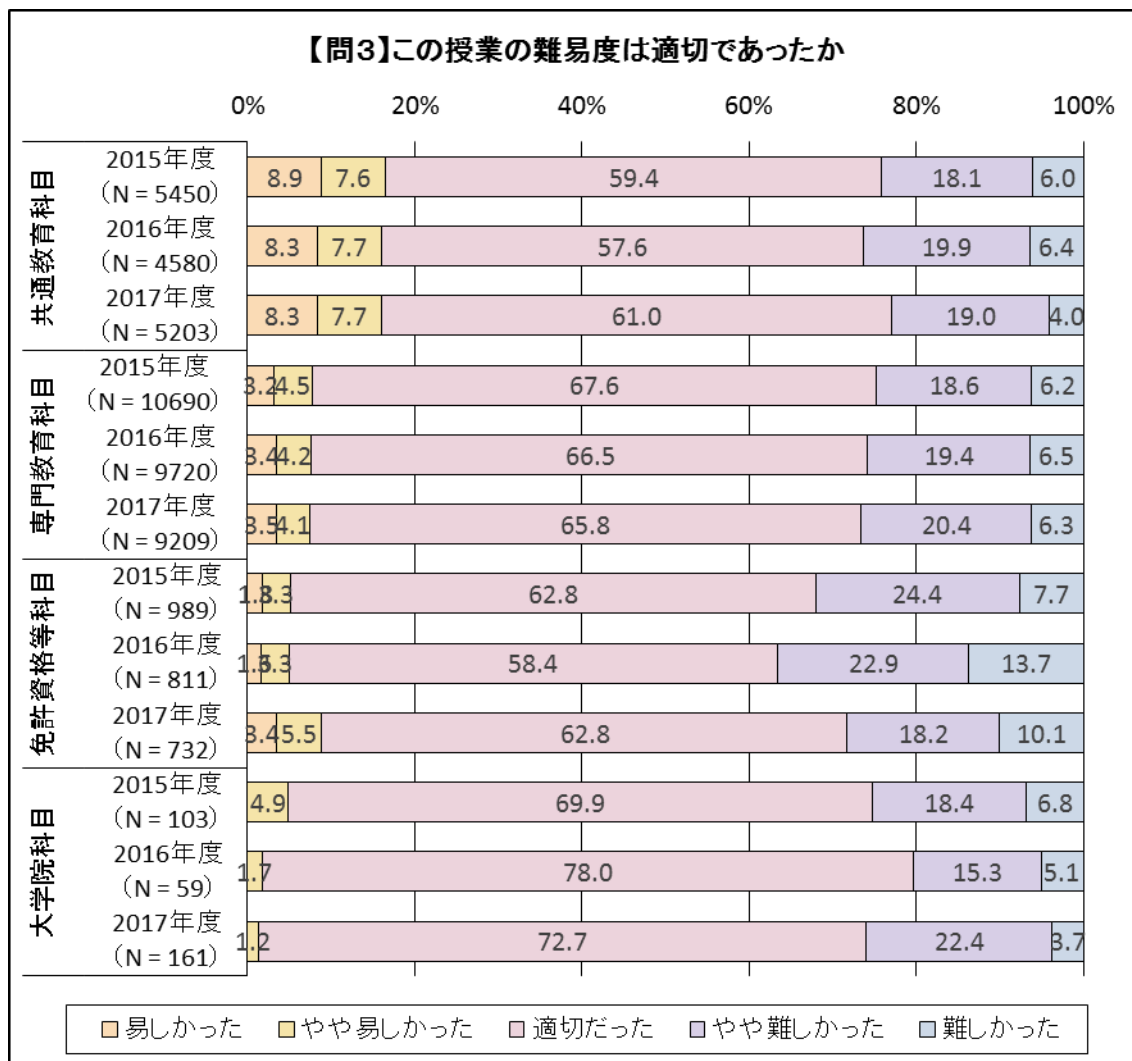
問2：授業1回につき，時間外学習（予習・復習）をどのくらいしたか

- ・「①ほとんどしなかった」を「0時間」，「②30分程度」を「0.5時間」，「③1時間程度」を「1時間」，「④2時間程度」を「2時間」，「⑤3時間程度」を「3時間」，「⑥3時間以上」を「5時間」のように換算（数値化）した。
- ・共通教育科目，専門教育科目，免許資格等科目については30分以下の割合が80%を超える。
- ・大学院科目については学部科目と比べて時間外学習の時間が増えているが，それでも換算値平均は2時間に満たない。



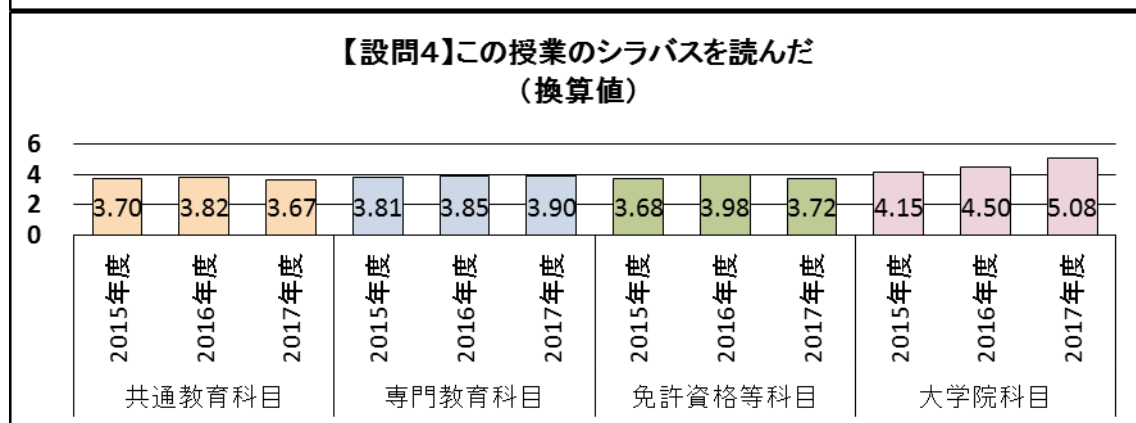
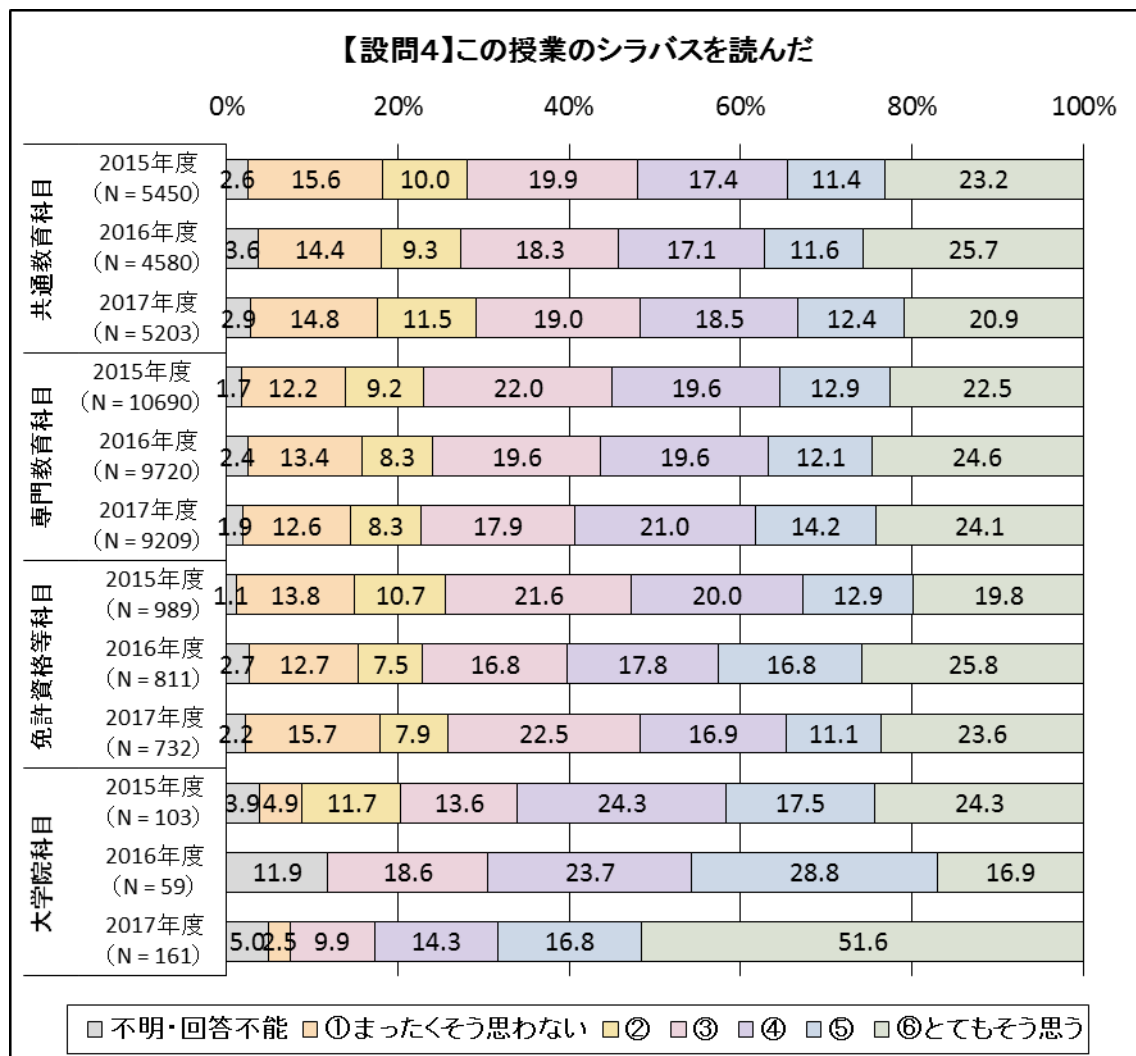
問3：この授業の難易度は適切であったか

- ・「①易しかった」を「1」、「②やや易しかった」を「2」、「③適切だった」を「3」、「④やや難しかった」を「4」、「⑤難しかった」を「5」として換算（数値化）した。
- ・「①易しかった」もしくは「②やや易しかった」の割合が、共通教育科目で約16%、専門教育科目で約8%であり、専門性が高くなると「易しい」と感じる割合が激減する。
- ・免許資格等科目については2017年度の回答では「易しかった」もしくは「やや易しかった」の割合が8.9%と前年（4.9%）と比べて増加している。



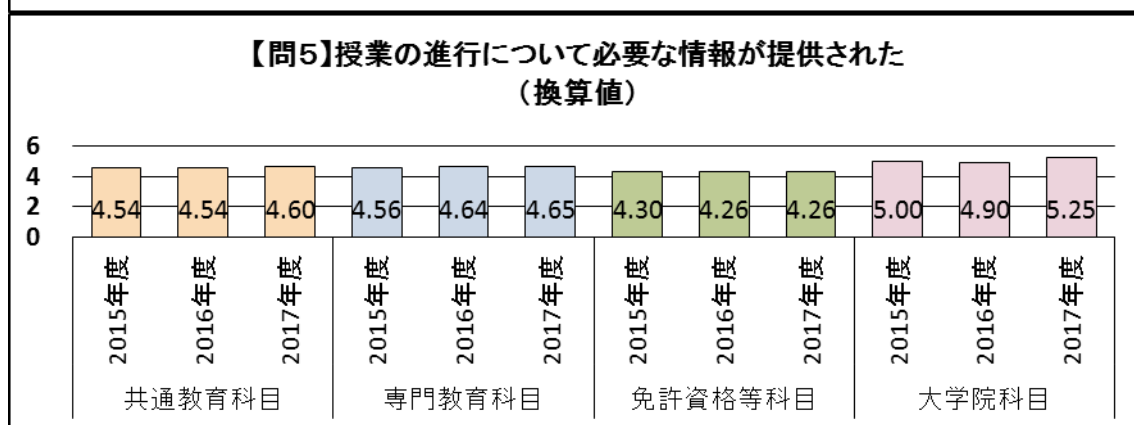
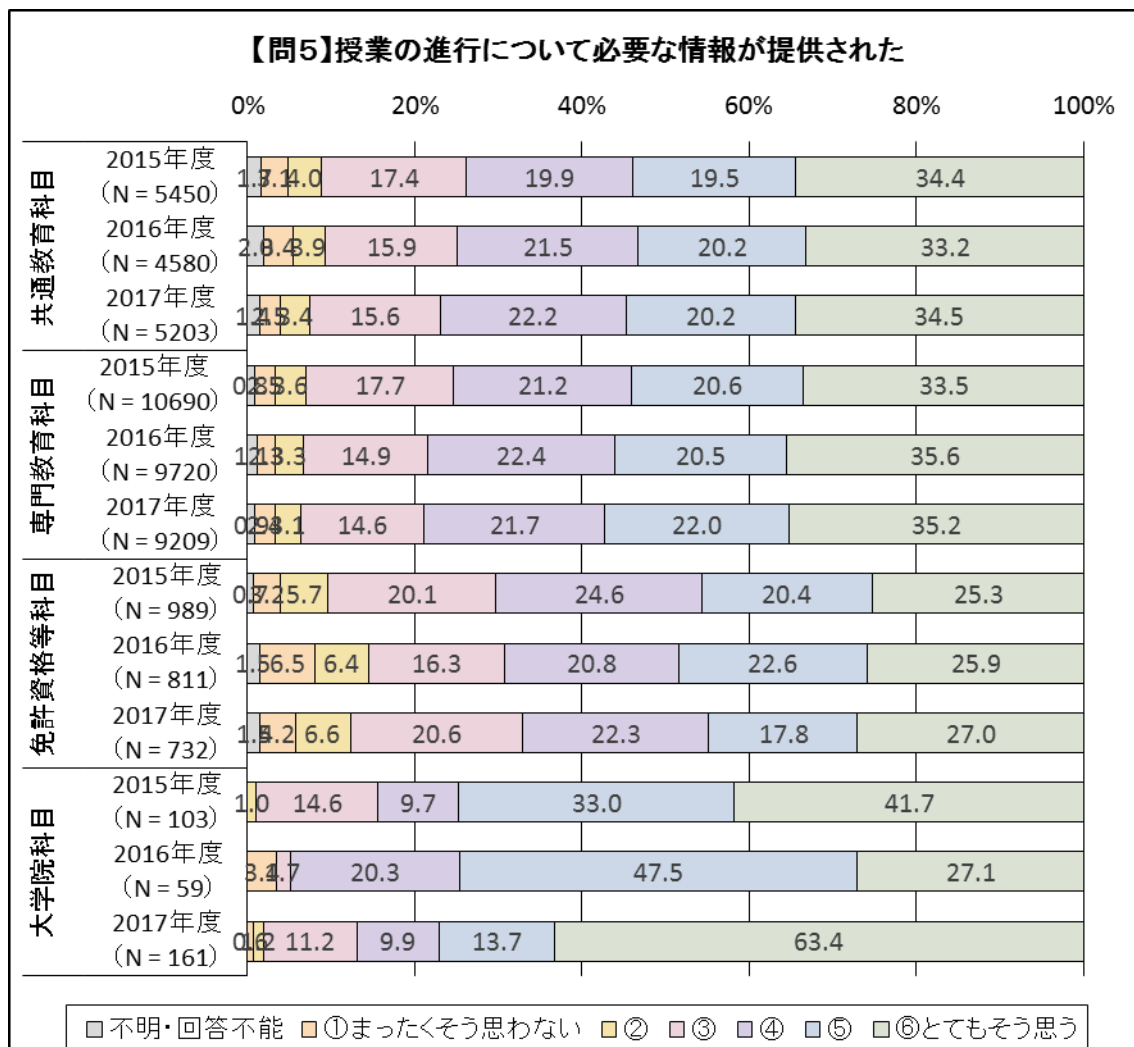
問4：この授業のシラバスを読んだ

- ・問4から問10の6段階評価については「①全くそうは思わない」を「1」，「②」を「2」，・・・，「⑥とてもそう思う」を「6」として，換算（数値化）した。
- ・学部科目については「⑤」または「⑥」の割合が40%弱となっている（ただし2016年度の免許資格等科目は42.5%）。
- ・大学院科目については「⑤」または「⑥」の割合は40%を超えており，大学院生の方がシラバス内容を確認してから授業に臨んでいる。



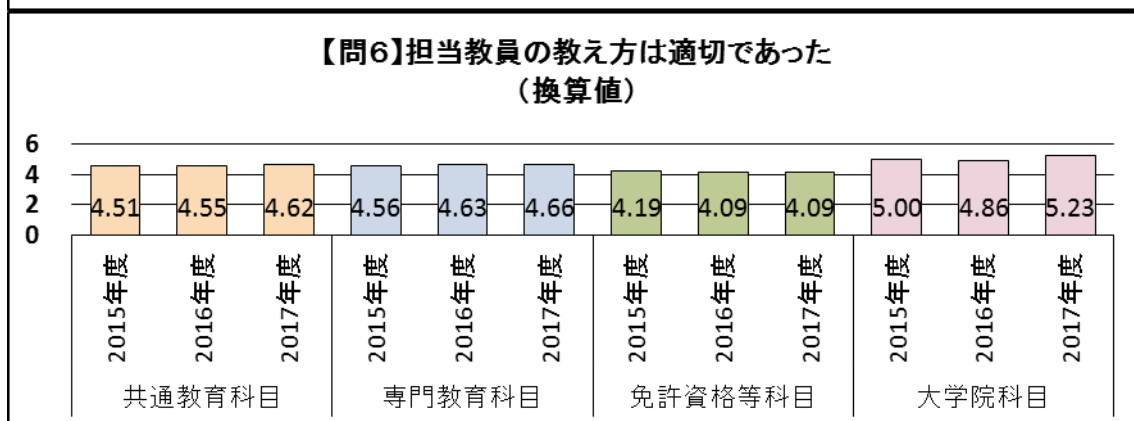
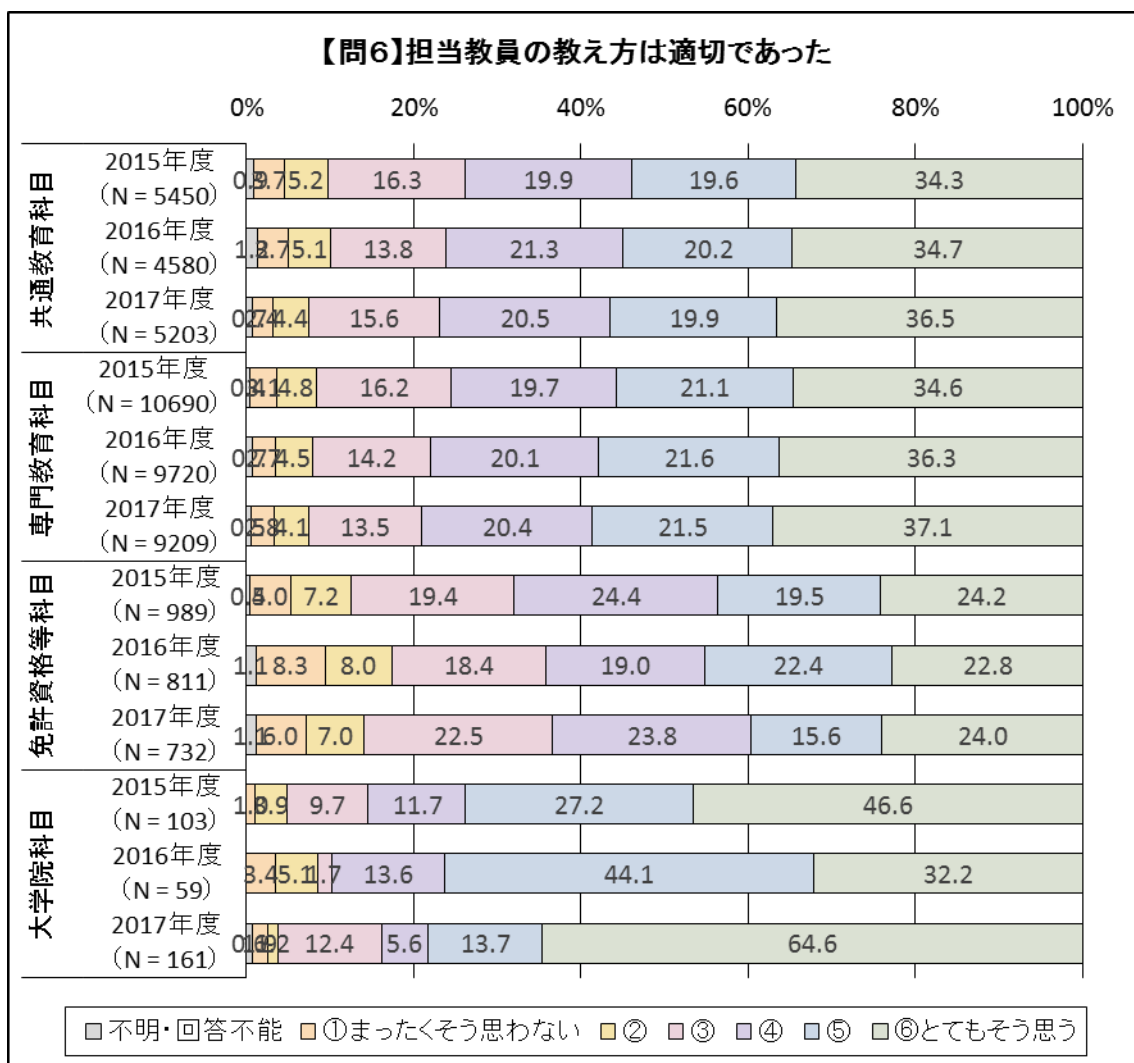
問5：授業の進行について必要な情報が提供された

- ・ 共通教育科目，専門教育科目については「⑤」または「⑥」の割合は55%前後（53.4～57.2%）である。
- ・ 免許資格等科目については「⑤」または「⑥」の割合は50%未満であり，先述の2科目と比べて，授業進行に関する情報提供に差が認められる。
- ・ 大学院科目については，2017年度では「⑥とてもそう思う」の割合が63.4%と非常に高い。この2017年度にポジティブな回答が多い傾向は，他の設問にもみられる。



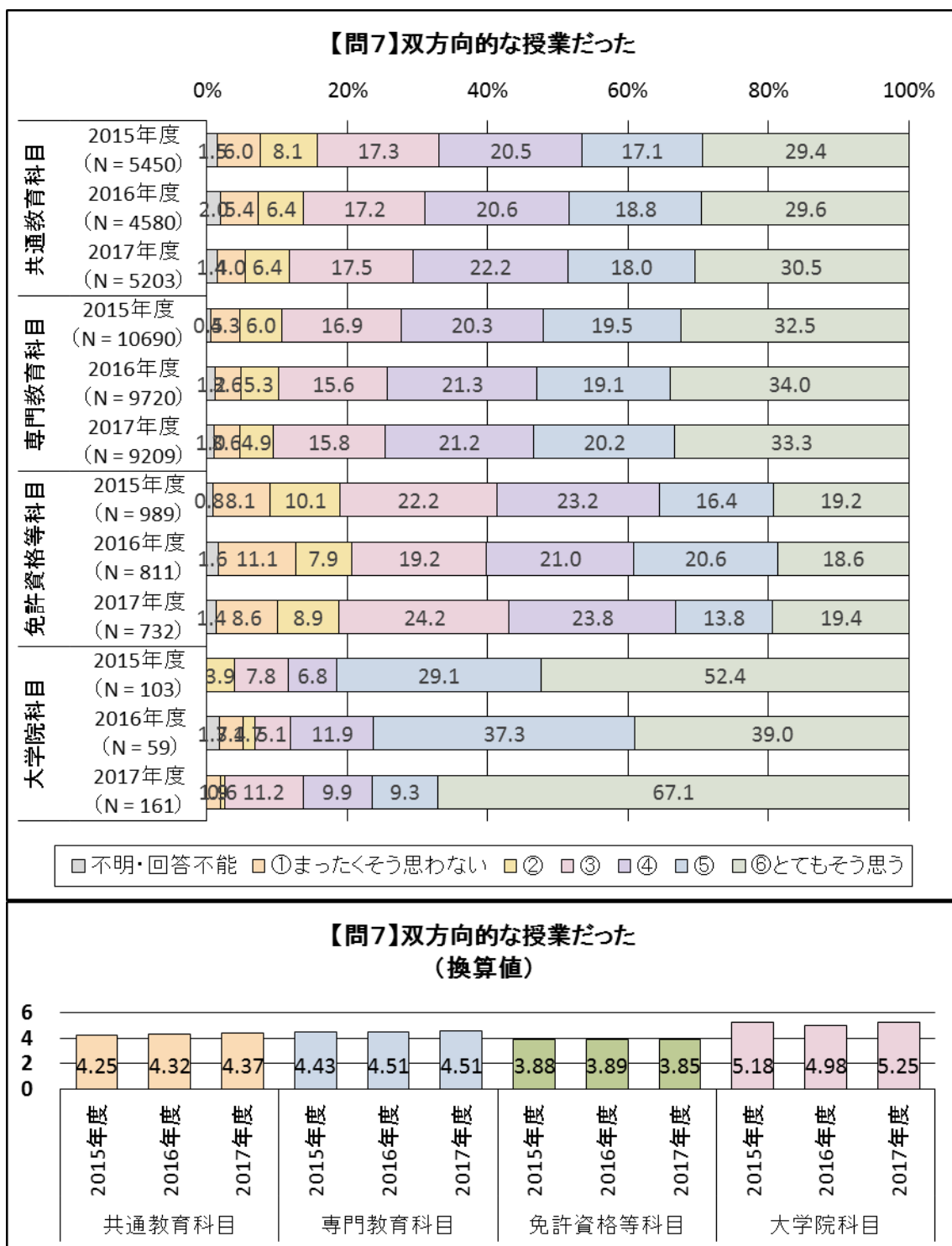
問6：担当教員の教え方は適切であった

- ・ 共通教育科目，専門教育科目については「⑤」または「⑥」の割合は55%前後（54.0～58.6%）となっている。
- ・ 免許資格等科目については「⑤」または「⑥」の割合は50%未満（39.6～45.3%）である。また「①」または「②」の評価の低い回答の割合は12.2%～16.3%であり，共通教育科目（6.8～8.8%），専門教育科目（6.9～7.9%）と比べ高くなっている。



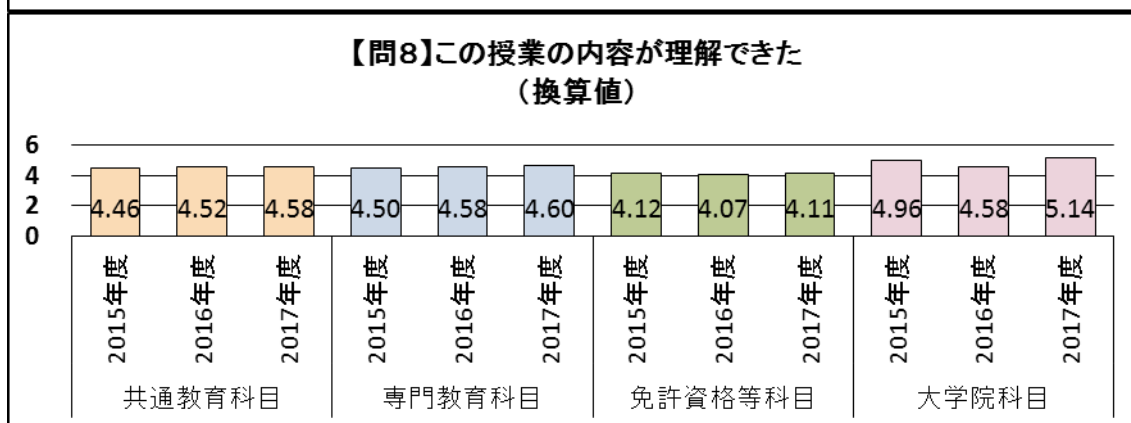
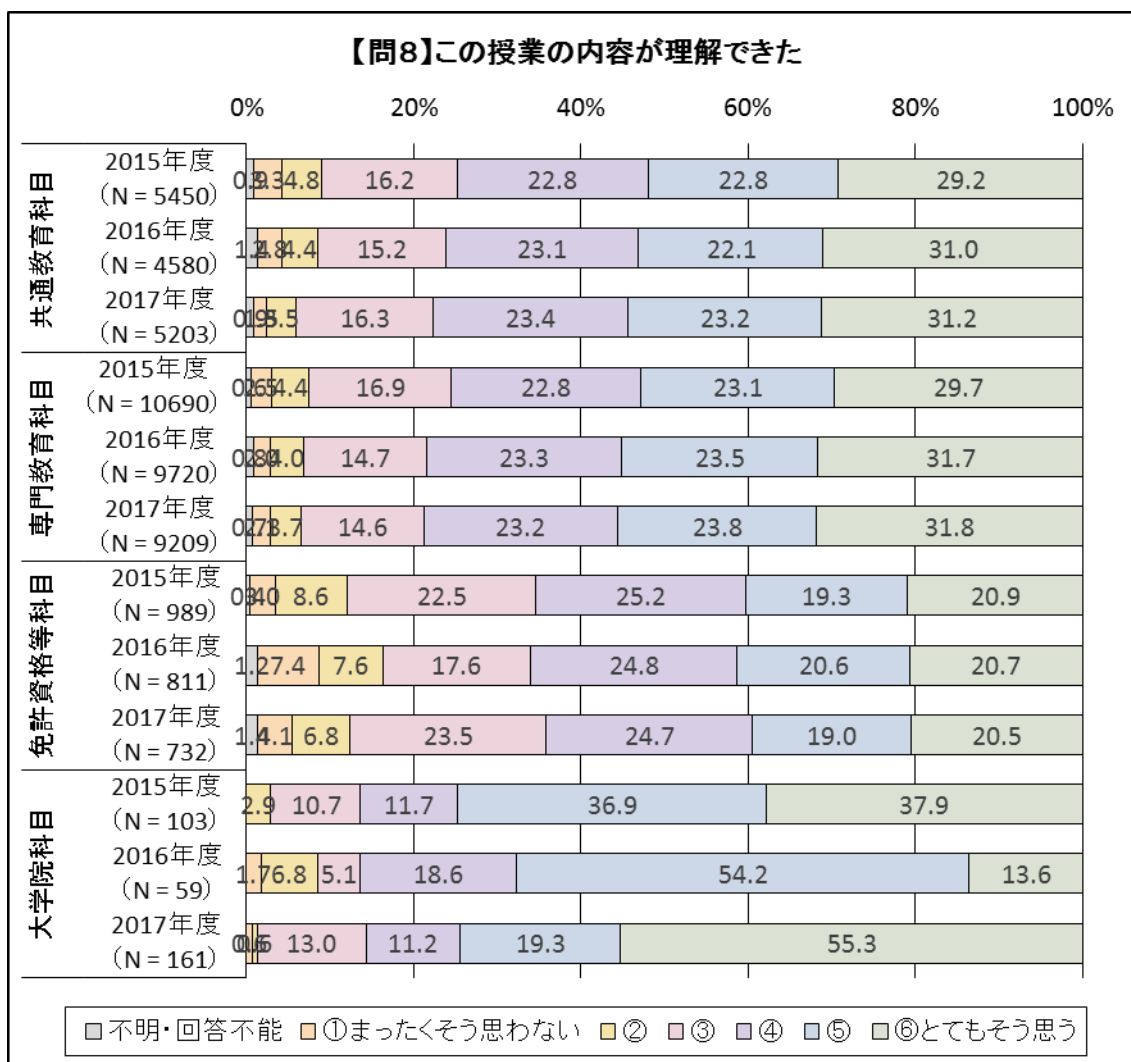
問7：双方向的な授業だった

- ・2015年度から2017年度の3年間を時系列にみると「⑤」または「⑥」の割合は、共通教育科目では46.5% → 48.4% → 48.5%，専門教育科目では52.0% → 53.3% → 53.5%と変化しており，若干ではあるが増加傾向にある。
- ・履修者数が少ない大学院科目では「⑤」または「⑥」の割合は75%を超えている。



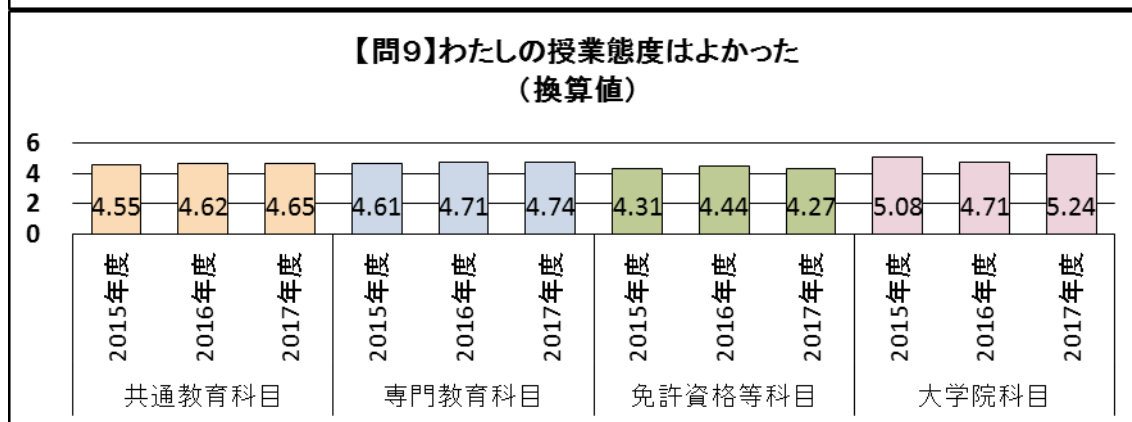
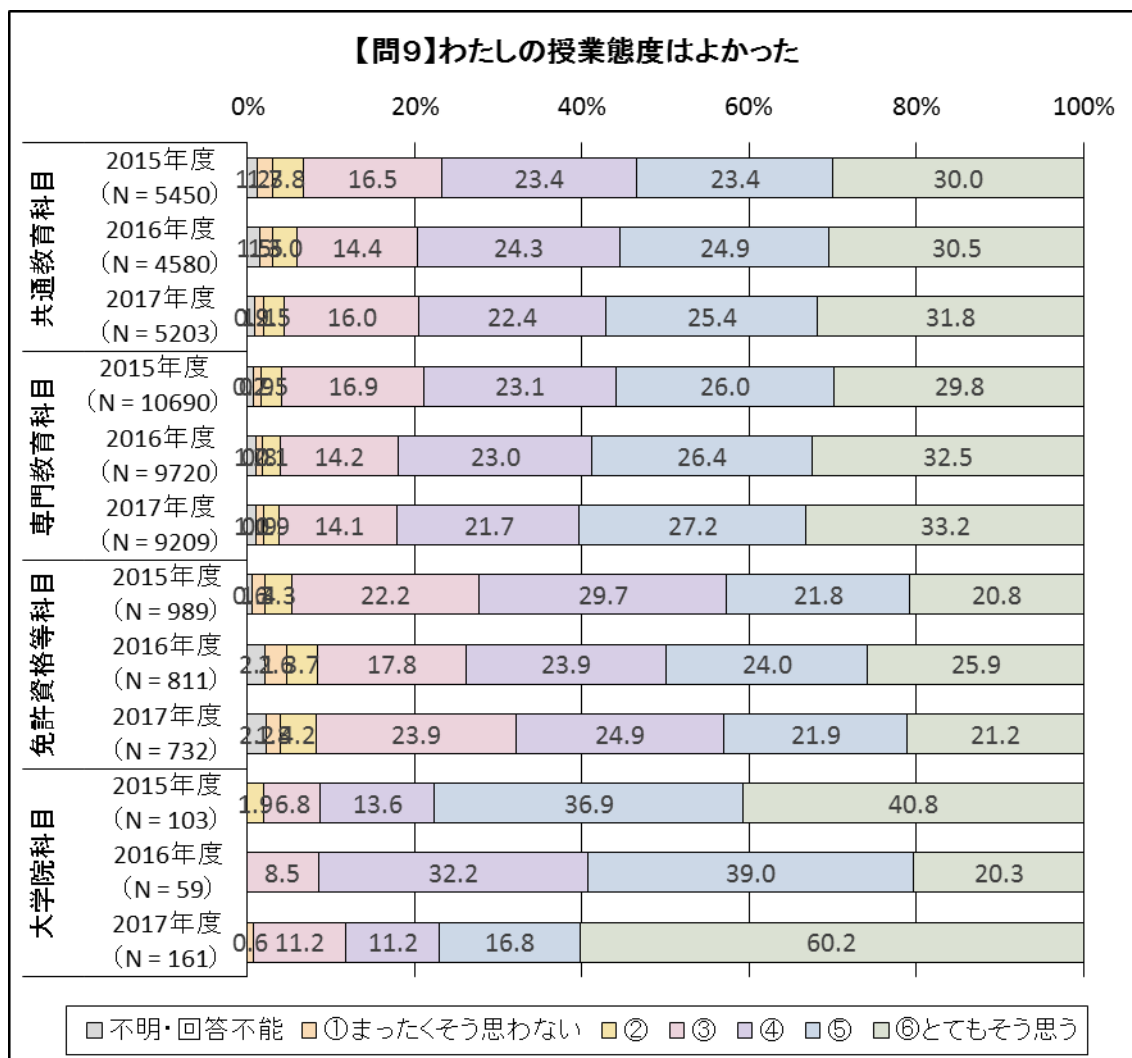
問8：この授業の内容が理解できた

- ・ 共通教育科目，専門教育科目については「⑤」または「⑥」の割合は55%前後（52.0～55.6%）となっている。
- ・ 免許資格等科目については「⑤」または「⑥」の割合は40%前後（39.5～41.3%）である。また「①」または「②」の評価の低い回答の割合は10.9%～15.0%であり，共通教育科目（5.1～8.1%），専門教育科目（5.8～6.9%）と比べ高くなっている。



問9：わたしの授業態度はよかった

- ・ 共通教育科目，専門教育科目については「⑤」または「⑥」の割合は55%前後（53.6～60.3%）となっている。
- ・ 免許資格等科目については「⑤」または「⑥」の割合は45%前後（42.7～49.9%）であり，他の設問と同様に，共通教育科目，専門教育科目と比べ評価が低い。



る。

問10：この授業の成績評価方法や成績評価基準について理解できた

- ・ 共通教育科目，専門教育科目については「⑤」または「⑥」の割合は55%前後（52.4～56.4%）となっている。
- ・ 免許資格等科目については「⑤」または「⑥」の割合は45%前後（44.1～48.6%）である。

